



平成 26 年 12 月 25 日

各 位

会 社 名 株式会社アイロムホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 森 豊隆
(コード番号 2372 東証第一部)
問 合 せ 先
役 職 取締役 社長室長
氏 名 谷田 洋平
電 話 03-3264-3148

当社子会社による中国 Fibrocell Asia Inc. 向けの がん治療用樹状細胞増幅技術実施許諾に関するお知らせ

当社の 100%子会社であるディナベック株式会社（以下、「ディナベック」という）は、細胞治療製品等の研究開発・製造と販売を行う中国の合肥法珀賽爾生物科技有限公司（Fibrocell Asia Inc.、以下「Fibrocell」という）に対して、ディナベックが開発し保有している「樹状細胞を増幅する特許技術」を主にがん治療を目的として実施許諾することとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 実施許諾の概要及び背景

このたび予定されている実施許諾では、Fibrocell がサービスを提供する予定のがん樹状細胞ワクチン療法に合わせて、ディナベックの「樹状細胞を増幅する特許技術」を、中国を対象として非独占的に Fibrocell に実施許諾するものです。この契約により、ディナベックは契約一時金・マイルストーン・ロイヤリティーを受け取ります。

Fibrocell は米国食品医薬品局（FDA: Food and Drug Administration of the United States Department of Health and Human Service）が商業技術として許可したヒトの皮膚から繊維芽細胞を培養して皺を修復する細胞治療技術を保有し、細胞治療を安全かつ効率的に実施可能とするための技術・ノウハウ、施設、資材、専門技術者、システム等を、医療機関に対して包括的に提供しております。ディナベックは、ヒトの末梢血から取得した樹状細胞を増幅する技術を保有しております。Fibrocell が保有する細胞の加工技術に、ディナベックが保有する樹状細胞の増幅技術を加えることで、より効果的な細胞治療技術を患者様に提供することが可能になります。

がん樹状細胞ワクチン療法は、患者様自身の樹状細胞を使用するがん免疫療法です。樹状細胞は血流に乗って全身を回りながらがん細胞などの異物を発見すると異物が提示する非自己分子により活性化され、患者様の免疫機能を亢進する免疫の司令塔の役目を持っています。患者様の末梢血から分離した単球を樹状細胞に分化させ、患者様のがん細胞から抽出したがん抗原や合成したがん抗原を取り込ませた上で患者様の体内に戻してがんを治す治療法を、がん樹状細胞ワクチン療法と言います。

従来の技術では、樹状細胞は増殖させることが難しい細胞であり、また、患者様によってはがん樹状細胞ワクチン療法で治療に使うための十分な数の樹状細胞を確保することが困難なケースもあるのが現状です。これに対し、ディナベックは樹状細胞を増殖させる新しい方法を開発して、この課題を克服できると考えています。

2. 両社の概要

(1) 商号	ディナベック株式会社	合肥法珀賽爾生物科技有限公司 (Fibrocell Asia Inc.)
(2) 主な事業内容	遺伝子医薬品、細胞・再生医療、 バイオ製品の研究開発と販売等	化粧品と細胞治療製品の研究開発 製造と販売
(3) 設立年月日	平成 15 年 9 月 5 日	平成 24 年 8 月 21 日
(4) 本店所在地	茨城県つくば市大久保 6 番	安徽省合肥市高新区望江西路 520 号 皖通科技産業園 2 号研発楼
(5) 代表者	代表取締役会長 森 豊隆	法人代表 左 璋

3. 業績に与える影響

本実施許諾による当期の業績への影響は軽微と見込んでおります。また、当期の業績予想に変更はありませんが、変更が生じる場合は、速やかにお知らせいたします。

以 上